

科目名	体育実技 I (基礎) Physical Training I		担当教員 (研究室番号)	大西 範和 (501)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	norikazu.oonishi@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	実技	科目等 履修生	否
科目 目的	本授業科目では、スポーツ（バドミントン）を題材とする。バドミントンのおもしろさを味わえる程度の技術を身につけることを目的に、毎回の授業の目標に応じた課題に取り組む。また、対抗戦での勝利をめざして自ら工夫しチームの仲間と協力し合う中から、技術を習得していく力やチームとして動く力をともに学びあう。心身のリフレッシュも体験し、健康な生活のために運動やスポーツを役立てたい。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) D 様々な職種との連携において、看護専門職としての役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。(技能・表現)										
到達 目標	1. ゲームを十分に楽しみ、チーム対抗戦などで活躍できる程度の技術や戦術を使うことができる。(B) 2. チーム内外で協力して、技術練習や対抗試合などを行うことができる。(A、B、D)											
成績評価方法 (基準)	毎時の活動、特に授業やグループワークへの取り組みを評価する(100%)、出欠席状況(1回の欠席で-5%)											
再試験の有無と 基準等	毎時の活動状況をもとに成績評価を行うため、再試験は実施できない。											
教科書	特になし											
参考書等	特になし											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	本科目では、バドミントンの技術や戦術を段階的に高めることを目的としたプログラムを受け手として体験する。自己の向上を体感すると共に、目的とそれを達成する手段の設定に触れ、体育実技Ⅱにおけるプログラムの計画・実施に役立てる。協調してスポーツ活動を行う中で、担当した役割を責任を持って果たす姿勢や仲間作りのための能力も身につけ、生涯にわたり人との関係を大切にすることを育て、医療・看護で問われる協調性を伸ばして欲しい。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	オリエンテーション・バドミントン体験		授業内容、出欠席の扱いや成績評価に関する説明、コートの設営、整備方法や潜在するリスクに関する説明を行う。グループ分けを行った後シャトルを打つ。					大西	実技			
2回	スマッシュを打つ		翼で大きく羽ばたくイメージを持ち、ラケットをオーバーハンドで大きくスイングできるようにする。簡単なゲームを行う。					大西	実技			
3回	ドライブを打つ		身体の前で鋭く羽ばたくイメージのラケットスイングができるようにする。簡単なゲームを行う(前時よりも現行ルールに近づける)。					大西	実技			
4回	サイドアームで打つ		身体向きを変えて鋭く羽ばたくイメージのラケットスイングができるようにする。簡単なゲームを行う(前時よりも現行ルールに近づける)。					大西	実技			
5回	ステップして打つ		ステップして鋭く羽ばたくイメージのラケットスイングができるようにする。簡単なゲームを行う(前時よりも現行ルールに近づける)。					大西	実技			
6回	アンダーハンドストローク		身体の前で下から上へ鋭く羽ばたくイメージのラケットスイングができるようにする。現行ルールでのゲームを行う。					大西	実技			
7回	ハイクリア		大きく羽ばたくイメージを使って高く遠くへ打つためのラケットスイングができるようにする。現行ルールでのゲームを行う。					大西	実技			
8回	フットワーク		サイドステップを利用したフットワークができるようにする。現行ルールでのゲームを行う。					大西	実技			
9回	サービスとヘアピンショット		サービスとネット際のシャトルの処理ができるようにする。現行ルールでのゲームを行う。					大西	実技			
10回	フォーメーション		トップアンドバックとサイドバイサイドの陣形と攻守によるその入れ替えができるようにする。現行ルールでのゲームを行う。					大西	実技			
11回	グループ対抗戦の企画とグループ対抗戦		グループ対抗戦の企画をしながら、オープン戦としてゲームを実施する。					大西	実技			
12回	グループ対抗戦①		グループ対抗戦第1ステージ。企画した内容に従って第一の組み合わせで対抗戦を実施する。					大西	実技			
13回	グループ対抗戦②		グループ対抗戦第2ステージ。企画した内容に従って第二の組み合わせで対抗戦を実施する。					大西	実技			
14回	グループ対抗戦③		グループ対抗戦第3ステージ。企画した内容に従って第三の組み合わせで対抗戦を実施する。					大西	実技			

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
15回	個人戦と総括	学習してきたレベルに応じてクラス分けを行い、同等のレベルでのゲームを行い、学習の成果を確認する。授業の総括を行う。	大西	実技

学 習 課 題

- 1～5回目課題（事後）：学習した技術を復習する。
- 5～9回目課題（事後）：学習した技術やルールを復習する。
- 10、11回目課題（事後）：グループ対抗戦が実施できるよう計画を立てる。
- 12、13回目課題（事後）：グループ対抗戦を有利に進めるための戦術について考える。
- 14回目課題（事後）：個人対抗戦が実施できるよう計画を立てる。
- 15回目課題（事前）：個人対抗戦を有利に進めるための戦術について考えるとともに、学習内容を自分なりに総括しておく。

実務経験を活かした教育の取組

--